

# 学習成果の評価（基準・方法）と客観的な指標の設定について

## 1. 評価方法と成績について

各科目の成績評価は、シラバスに明示した評価方法及び評価基準に基づき、出席状況、定期試験、課題・レポート、その他平常点（小テスト、ミニットペーパー、授業への参加状況等）を総合して行う。評価ポイントの合計は 100 ポイントとし算出された評価ポイントに応じて A,B,C,D,F（F＝単位不認定）の 5 段階にて評価を行う。評価項目及び配点の構成は、原則として科目ごとに設定する。

但し、学校行事、コミュニケーションアワー、海外研修旅行等は、出席又は参加の状況に応じて、認定を「R」、不認定を「F」として評価し、評定（A～D）は付さない。

また、ホテル・ブライダル企業実習については、実習先企業からの評価と、就労時間数に応じた単位数を付与する。

学習意欲を評価する面では、本校が推奨している各種資格・検定に関して、その取得した等級により、所定の単位を付与し、単位認定を行う。

## 2. 客観的な指標の設定と成績分布状況の把握について

A 評価を 4.0、B 評価を 3.0、C 評価を 2.0、D 評価を 1.0 とする。

GPA は、A・B・C・D・F の評価が付された科目を対象とし、各科目の GP に当該科目の単位数を乗じた数値の合計を、GPA 対象科目の総単位数で除して成績分布を算出する。

R 評価科目は、成績段階を伴わない認定科目であるため、GPA 算出対象外とする。

但し、企業実習については、本校教育課程における重要科目であることから、奨学金等の判定においては、GPA に修得率を乗じた数値を用いる。尚、修得率は、修得単位数を修得すべき単位数で除して算出する。